

## 拔萃

### 鐵鋼價格値下問題に關する

#### ゲリー氏の意見

K O 生

(The Iron Age, Feb. 17, 1921)

數日前合衆國スチール、コーポレーションの會長ヂャヂ、

ゲリー氏は紐育市の新聞代表者と會見せしが、獨立會社に於ては最近鐵鋼價格の値下を施行したるに就きて記者より同氏の意見を徴したるに對して答へて曰はく「余は某獨立會社に於て價格を値下せることを聞けり、然れども彼等は斯く決定せりと雖ども余は未だ此値下價格に於て實際販賣せられしものあるを聞かず、是れ恐らく彼等の企圖なるべし、果して事實なりとせば、甚だ奇怪事と云はざるべからず。之等の會社は一九一九年三月政府の公定せる價格を以て販賣せられざるを以て斯かる主張をなすものなり、如何となれば同公定價格は彼等の實際生産費より安價なればなり、而して余は吾人の帳簿を見るに生産額の過剩を來せるを以て同業者間の競争上利益を以て販賣を企つることは不可能となり、已むを得ず價格の値下を斷行せざるべからざるものと信ず。素より生産費の許す範圍に於て値下を施行せらるべきは凡ての貨物に於て然りとす、是れ事業の情

況を整理し又は之を扶助する上に必要條件なればなり。然れども不合理的値上の不可なるが如く不合理なる値下も亦不可なり。殊に大量の製品を包藏する會社又は大なる註文を引受くる所のものに於て非常なる價格値下は大なる損害を惹起するに至るべし。余は二、三日前に於て多數の鐵鋼業者より現在の基本價格を維持せしむべき緊急の要求を受けたり、余は人氣上又は金融上後者を以て得策なりと信ずるものなり」と。

#### (一) 勞銀

余の見る所に據れば現在某製造業者は一九一九年三月工業局に於て制定せる價格以下に販賣價格を値下せんと計畫せるものあり、然る時は自然勞銀支給に關しても値下の意味を含まざるべからず、果して然らば確かに錯誤にして且つ不正事なり、即ち今日の販賣價格が其の實價に比して高きか又勞銀も實際高きに非ざれば之等の値下は需要者に對して不正なりと云はざるべからず。又猥りに値下をなすことは營業並に註文を阻礙し從て將來大なる利益を收得すること能はざるは夙に各製造業者の覺悟せざべからざることなりとす。如何なる製造業者とて利益の確保を期せんには決して之を一時的の方策に依るべからず、是れ相互の競争に因りて次第に低下せらるゝを以てなり。斯の如くなるを以て余は所謂獨立會社なるものゝ意志の有る所を知るに苦しむものなり。

余は過去の經驗に徴して公正に且つ合理的の範圍に於て價格の安定を維持することは之れ其顧客、使役者並に一般公衆に對して相互の利益を安泰に保持する所以のものなるを知る。我がスチール、コーポレーションに於ては常に公正の價格の上に立脚するとに留意せり、而して顧客、使役者、公衆並に他の競争者に對しても公平なる態度を保ち決して不合理なる値上又は値下をなすとなし。之等の關係に於ける質疑には吾人は隨時何人にも説明の勞を惜まざるべし。要するに吾人は飽く迄も公正なるを期して活動すべし。余は之を以て最上の原則にして且最上の政策なりと信ず。

## (二) 價格及勞銀に變化無し

吾人は現在の販賣價格を變更する意志を有せず従て又勞銀率を低下せしむること無し。現在多くの首要品の物價は尙ほ非常に高價なり、之全く小賣商人に依りて起源せらるゝものなり、而して或場合に於ては之が職工並に勞銀組合に依りて左右せらるゝことあり。之等の情況に據りて生活問題解決の爲めには材料の値下は早晚斷行せられざるべからず、従て其使役人の俸給等も同様に低下せられざるべからず。併し乍ら之を以て現在一般の卸賣業者又は基本工業に迄之を適用すべしとは余の考へざる所なり。

## (二) ウイリアム案に對する意見

鐵鋼價格管理者ウイリアム氏の發表せる鐵鋼業に關する所論に就て如何なる意見を有するやとの質問に對してゲ

リー氏曰はく「ウイリアム氏は甚だ才幹あり且つ尊敬すべき紳士なるが、余は彼の爲したる論述には尠なからず驚嘆せしめられたり、要するに彼の論述に於ては大なる錯誤あり、而して余の見る所に依れば彼は工業界に於ける差異ある點に區別を立つることに注意を缺けるもの、如し。若し彼が何時にても我が事務所を來訪せば余は喜んで吾人の價格並に生産費に就て明細なる説明をなすに躊躇せざるべし。余は吾人が商議の上合理的なりと思考せる所のものを十分彼に提供し能ふと信ずるものなり。」と

一九一八年十一月十一日休戰條約締結せらるゝや余は合衆國製鋼業を管理すべき任命を受けたり、而して十二月九日戰時工業局の主催にて全國製鋼業者の大會を開き其の提案に依りて販賣價格値下問題に關して協議せり。種々なる論議のありたる後、遂に之を權威ある委員會に委託することとせり、同委員會の決議の結果は一噸に付五弗乃至六弗の値下なりき、之等の價格は一九一九年三月二十一日迄施行せられたり、此時に當り製鋼業者は代表者を工業局に會合せしめ、大統領並に商務大臣の賛同に依りて更に値下問題を協議せしに一噸に付約六弗低下せしむることとせり。スチール、コーポレーションに於ては之等の價格を其時より現在に至る迄精確に實施せり、併し勞銀は一九二〇年二月に於て約一〇%値上せられ、又運賃率も約三五%又は夫以上値上せられたり。是に於て鋼生産物の多くは眞の工場

の生産費又は夫以下に於て販賣せられたり。併しスチール  
コーポレーションに於ては尙ほ相當の利益を收め得たり。  
而して余は其勞銀率を維持することを承認せられたるに付  
て深く感謝するものなり。余は一般に製鋼業に於ける價格  
問題は其勞銀に於けるが如く公正に合理的に計算せらるべ  
きものなりと信ず。余が製鋼業管理事情斯くの如し。

#### (四) 一般の事業情態

扱て一般の事業情態に就て記者の質問に答へて曰はく  
「余は嘗てフォード氏と會見して彼の自動車事業情態に關  
して聴取したるが甚だ敬服したるものあり。彼の事業に就  
ては往々新聞紙上に發表せらるゝを以て一般の認識する所  
なるべし。フォード氏は堅忍持久の精神を以て公正なる管  
理をなし彼の事業に對する經營は彼の天賦の義務なるかの  
如くに見え以て將來に對する見解も極めて明瞭に且つ穩健  
なる態度を示せり。」と。

只だ茲に遺憾なるは政府の課税問題なり、現在の課税率  
は餘り重大にして其の收益の大部分を此の方面に吸収せら  
るゝなり。尙ほ政府の處置に對して失當なる點は事業振興  
に對して干涉すること、管理の失當なる爲め事業を阻礙す  
ること、株式の施行に於て民意に添はざること等なりとす。  
是に於てか余は政府の管理に對して大に經濟策の改正を要  
すべきものありとなす。戦時中は何事も拙速を尊び考察又  
は研究に對して徒らに多くの時日を要することを避け、ひ

たすら大數量の生産を必要條件とせり。然るに今や吾人は  
經濟的の事業恢復期に到達せるを以て凡て吾人の經濟的方  
策を確守せざるべからざるなり。此際政府は事業管理施行  
上大に調査研究を要するもの多々あるべしとなす。

#### (五) 鐵道會社の負債

鐵道擴張計畫に關して政府の支拂延期の失態に就ては他  
に理由あるべしと觀測せらる。即ち之は直接當局の過失に  
非ずとするも事業管理上大に政府の威信を失墜せるものな  
り。兎に角鐵道會社の負債は頗る多額に上りて彼等は其の  
金額を調達すること能はざるに至れり。故に彼等は材料の  
購入を躊躇し假令又購買契約成立すとも彼等は其の支拂ひ  
を爲すこと能はず、之が爲めに事業經營上障害を來すこと  
尠からざるなり。汽車製造業者は其の請求金額に對して支  
拂不能なるにより従つて又製品納入の契約履行を遲滞せし  
むるに至る。現在鐵道會社の事業經營情況概ね斯くの如し  
此時に當り若し完全に資金の流通を圖らば以て一般事業界  
に及ぼす影響や大なるものあるべし。余は現在の鐵道業の  
狀勢に鑑み大いに整理の任に當らんとす。

勿論識者間に於ては大いに憂慮せらるれども、苟しくも  
事業界の傾向が斯くの如くならんには事業家をして其の將  
來に對し尠からず危惧の念を抱かしめ其の前途に光明を認  
めしむること能はざるべし。斯くして所謂資本家は凡て其  
の投資を躊躇し、又所謂労働者も同様の感を抱くに至る。

前述の如く今や全く事業恢復期に入れるを以て吾人は凡ての生産物に對して要望せられ、從て吾人資金流通策は實に多々存するものなり。現下の狀勢に關しては頗る悲觀の意見を有するもの尠からざれども、余は之に反して全く一時的の現象と認め特に最近の二、三週間に於て米國に於ける多數權威ある人士の樂觀説を聽くに及んで益々余の信念を強くするものなり。

(六)外國との競争

終りに臨み外國との競争に對する意見を徴するに「余は鐵鋼業に對して外國と競争問題は顧慮する所なし、某外國の競争に關しては重要件に相違なきも競争は常に有り得べきことにして而かも彼等の權利なれば決して之を抑制するの要なし、吾人は只だ之を豫期すれば足れり」と。(完)

○鐵鑛輸入趨勢

一九二〇年度鐵鑛の輸入は一千百三萬九千四百六十六擔、一千四百八十九萬六千五百二十圓であつて、一九一二年(大正元年)の三百三十萬七千六百四十擔、百十七萬八千四百十三圓に比較すると金高に於て實に一千三百七十二萬八千三百六十七圓の激増を示して居る、右は勿論戰時より製鐵業好況に至つた原因だが斯く異狀の好況を呈した反動として現下の不況は其の極に在り從つて各製鐵會社は鑄鑛爐の過半を休止し生産制限の續行中なれど需要は依然として喚起されず銑鐵相場は噸七十圓乃至八十圓の間を往來し高

値の五百圓唱に比し慘落の程度も甚だしい丈け製鐵所並に問屋側の手持は莫大なものである、左表は大正元年より九年迄の鐵鑛輸入額である。(單位千擔、千圓)

大正元年	鐵鑛輸入數量	其價格
二年	三、三〇七	一、一七〇
三年	四、六七〇	一、五八五
四年	四、九八七	一、七二〇
五年	五、一五二	一、八一二
六年	四、六六九	一、六七一
七年	四、九五四	二、四五五
八年	六、〇一五	九、六七三
九年	一〇、三五一	一六、一三八
合計	一、〇三九	一四、八九六

○支那鐵鑛產額

米國官憲の最近調査と稱する支那鐵鑛產額は左の如し。(單位千噸)

鐵鑛名	所在	推定產額
鞍山	滿洲	一五八、〇〇〇
龍崗	山東	八〇、〇〇〇
金嶺	蘇州	二〇、〇〇〇
鳳凰	安徽	三〇、〇〇〇
桃文	同	二〇、〇〇〇
文菰山、小菰山	同	一三、六一〇
良山	同	三、〇〇〇
安慶	同	六〇、〇〇〇
大冶	湖北	二五〇
大冶	同	四三、〇〇〇
鄂州	同	三、九四八
雒陽	同	一七、一〇五
外灘	同	九、七四〇
門子	同	六、〇〇〇
安山	同	一、〇〇〇
潘田	福建	二九、〇〇〇
合計	同	四九四、七五三